

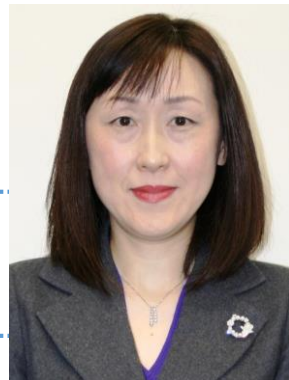


第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・幼児の部

審査員講評

ならはらもとこ

梶原素子先生（当番審査員）



本選に参加された皆さん、ご家族の皆様や先生方には、長期のコンクールへの取り組み大変お疲れ様でした。

大きなステージに、小さな歩幅でかわいく登場する姿だけでも、微笑ましく自然と拍手を送りたくなりましたね。

演奏では、安定したテンポとリズム、鍵盤の底をとらえた会場に通る響きを既につかみ、何より曲のイメージを心を込め表現された演奏が多く聴かれました。日々の良い練習と、先生の的確なご指導とのハイレベルな連携の成果かと思います。

更なる成長を期待して、2点アドバイスをお伝えさせていただきます。

🎹 先の学習につながる選曲を。

テクニックや感性を育てる大切なこの時期、背伸びをした難しい曲を選んでしまうと、心から楽しめず、様々な面で無理が生じてしまいます。ご自分の手に合った、イメージ膨らむ作品を選びましょう。規定の1分以内も守ってくださいね。

🎹 正しい姿勢と、適切な楽器との距離を。

ピアノは手で弾くと思いがちですが、実は腕全体を、後には響きを作るのに全身が大いにかかわってきます。肘が伸びきってしまったり、楽器との距離が近すぎて腕が活動できない等を避けてください。

また、演奏する時に、力んでしまうと硬い響きに陥ることに。肩は脱力し、頭頂と肩の2点で正三角形を作るイメージで、正しい姿勢を作りましょう。

🎵 最後に、これから素敵な曲に沢山ふれ、心から音楽を楽しみながら成長していきましょう。